

【北陸支部総会 報告】

2011 年度 北陸支部総会開催報告

長澤英二(短大 13 回生)

去る 10 月 15 日(土)2 年ぶりに学友会北陸支部総会・懇親会が、石川県山中温泉「河鹿荘」ロイヤルホテルで開催されました。参加者は来賓 3 名、支部会員 17 名の総勢 20 名で、初秋の山中温泉の情緒あふれる雰囲気の中で、16 時 30 分から始まりました。最初は特別講演ということで、「トモシンセシスの臨床的有用性と今後の展開について」と題し榑島津製作所の田中氏によって行われ、一般的なトモシンセシスの話題に止まらず現在研究中の最先端技術にまで及ぶ内容で非常に興味深いものでした。その後は休憩をはさんで総会に移り、開会の挨拶に続いて来賓として参加頂いた遠藤啓吾学長と神澤良明会長から新任のご挨拶と大学の近況や学友会本部の活動状況等について報告が行われました。そして、柴田支部長からは北陸支部活動報告、会計報告等が行われ無事総会が終了となりました。

総会終了後は、風情漂う山中の湯にゆったりと浸り一日の疲れをとって、館内の大広間で懇親会となりました。懇親会は山田勝彦先生の乾杯の音頭で始まり、ベテラン・若手の隔てなくいろいろな話題に花が咲き、時間を忘れて夜遅くまで盛り上がっていました。そして、成田 剛氏(37 回生)の一本締めでお開きとなりましたが熱気は冷めることなく、部屋に戻って改めて二次会が深夜まで続くといった状況で、会員の皆様がいつまでも元気でエネルギーだなどと感じました。と同時に、卒業生同志の強い絆を感じ、この学友会活動の必要性をも痛感いたしました。

最後になりましたが、今回参加頂いたご来賓、会員の皆様、協賛各社様、本当に有難うございました。



以上

* 通巻 203 号 2012 年 4 月 10 日発行(H24-No.1)より